

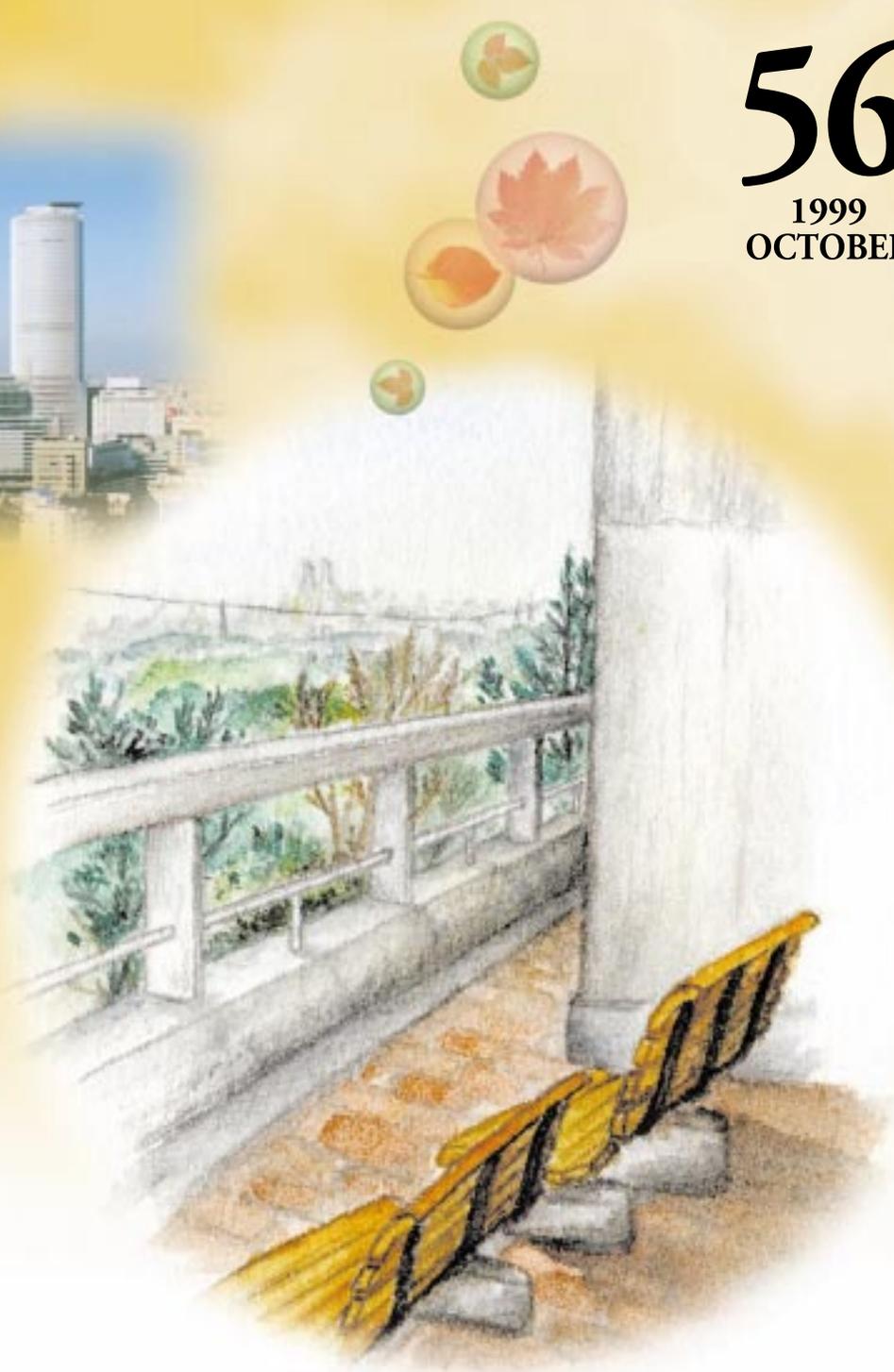
NGU NEWS ISSN 0915-8901

COSMORAMA

56
1999
OCTOBER



「JRセントラルタワーズ」遠望



Culture & Human Resources
NAGOYA GAKUIN UNIVERSITY

CONTENTS

Interview

中村好江さんに聞く…………… 1

Topics

経済学部改革と政策学科の新設… 2
2年目となったシティーカレッジ…………… 3

NGU Focus

1999年度 就職状況…………… 4
99年度就職戦線中間報告
主な就職内定企業
私の就職活動

Essay

シリーズ コーシンと歩く瀬戸の街 第5回
「共生の杜の今」木村光伸…………… 6
翻訳を読む楽しみ 西脇隆夫…………… 7

Campus Now

シリーズ
ゼミナール訪問 27 …………… 8
岸田ゼミ
海外姉妹校紹介
カラマズー大学
サークル短信…………… 9
少林寺拳法部／漫画研究会
1999年度 学部長表彰…………… 10
教育振興資金 募金の御礼とご報告

Information

決算と予算…………… 11
1999年度 父母懇談会開催…………… 12
第35回 大学祭 今年のテーマは「初体験」
創立記念日礼拝
TV放映もあったオープンキャンパス
1999年度 父母会総会報告
第34回 NGUチャペルコンサートを開催
父母会・同窓会・理事会役員紹介

COSMORAMA (コスモラマ) の由来
「宇宙」や「世界」を表わすCOSMOS(コスモス)とPANORAMA(パノラマ)との合成語。19世紀にロンドンの街角でしばしば行なわれた世界各地の様子をのぞきみせるショーの名称として使われたのが最初。世界の動きに興味を持ち、大きな視点に立ってそれを見渡すことができるようにとNGU NEWSの愛称に採用しました。

——昨年、東京でソリストのジャストランペッターとしてプロデビューされたそうですが、きっかけはどのようなものだったのですか？
日本のテナーサクソ奏者の第一人者である松本英彦さんと私の父が知り合いだったことから、私の演奏を聞いていただいたことがきっかけで、松本さんの推薦でデビューステージが決まりました。

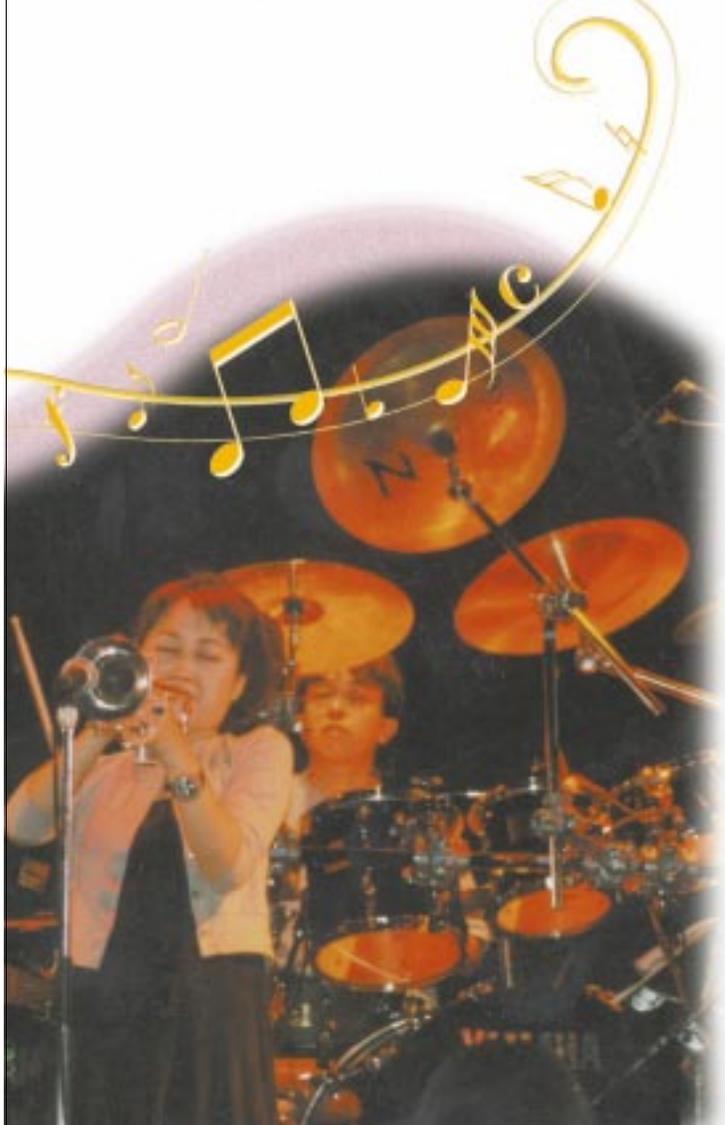
——トランペットとの出会いは、どのようなものだったのですか？
小学校4年生の時ですか、体育祭などでマーチングバンドなんかやっていますよね。それを見ていなあと思いつてもかっこよかったんですよ。それでわたしもブラスバンド部に籍をおいていたのですが、はじめは、アルトホルンの担当にならなくて、トランペットは、トランペットがやりたくて、先生を説得して変更してもらいました。

——実際には、中学生のころから、プロとしての活動をしていましたよね。

はい、地元Dixieland Jazzを中心としたバンドでは、その



松本英彦さんとスタジオにて



PROFILE

なかむら よしえ
外国語学部英語学科3年。
9才よりトランペットを始め、中学時代に数々のコンクールで優勝。このころからプロバンドに招かれ、中国、ヨーロッパ、アメリカ、フィリピンなどへ海外演奏に出かけ、国内では持ち前の明るさで各地で活動している。



Interview

中村 好江

またね……

それは私にとって、大切なチャンスの意味する 素敵な言葉なんです。

——97年はロンドン、昨年はニューヨークのハーシムにたった一人で勉強に行かれたそうですが、今年の夏も、勉強に出かけられるのでしょうか？

はい、再度ニューヨークへ行く予定です。2年目の今年は演奏技術の習得に加えて、自分らしさを表現し、気持ち素直に伝えるための基礎となる『発想法』を学んできたいと思っています。ニューヨークには既成の概念にとらわれない、アーティストの個性を尊重する雰囲気と活気が溢れています。が反面、言い換えれば、あるひとつの才能を磨いているだけではとても生き残れない、一人の人間が様々な才能や個性を競い合っている厳しいところだと思っています。



ジョン・ファディスさんとNYにて

——音楽大学への進学、もしくは大学へ進学しなくても音楽を中心にした生活を送ることはできたと思うのですが、本学外国語学部を選ばれたのは、なぜですか？

確かに、音大への進学やフリーターをしながら音楽を中心にした生活を送ることも考えましたが、元々英語が好きだったこと、また音楽以外の勉強をすることに異なつた視野でものを見られるようになれたいと思つて今の学部を選びました。中学生の頃から、演奏活動を含め、海外での異文



ジョージ川口さんとディナーショーにて

化体験は比較的多い方だと思つのですが、大学では専門的な英語の授業だけではなく、背景となる文化について学ぶことが出来るのが良かったと思つています。

——音楽を続けていく上での苦労などはありますか？

常に自己の確立をはかって向上していかなければならないのでやはり大変ですね。それは他との競争を意味することはもちろん、自分自身をグレードアップしていかなければならないことでもあり、避けては通れない悩みを感じることがあります。でもライブ演奏している瞬間にはそんな気持ちも忘れさせてくれるだけの心地良さがあります。

——音楽の世界で頑張っている中村さんから、同じ名古屋学院大学の学生に何かメッセージをいただけますか？

私も現在学生で、学年的に先輩の方もいらっしゃるのですが、偉そうなことは言えないのですが、私自身のことをお話しますと、今自分は何をしたいのかを考えた自分の目的達成のためのチャンス逃さないよう、与えられる前に自分から動くことを心掛けています。その中でも特に大切にしていることは、人との“出会い”です。たとえば、それが社交辞令だとしても、声を掛けていただいたからには、その縁は絶対無駄にしないよう、必ず会いに行くようにしています。

——これからの目標についてお話していただけますか？

そうですね、やはり将来的には海外で活動してみたいという夢はありますが、まずは日本で認めてもらえるよう頑張りたいです。そのためにはまず、技術を磨くことはもちろんですが、『音楽に包まれている時が一番幸せ』という素直な気持ちを他の人にも一緒に感じてもらえたらと思っています。

インタビュー取材は8月に新聞会の武田康弘くん（経済3年）の協力を得て行われました。



菅沼孝三さんとボトムラインにて

経済学部改革と政策学科の新設

政策学科新設の経緯

「承知のように名古屋学院大学経済学部は今から100年以上前の1887年にアメリカ人宣教師F・クライン博士によって設立された私立愛知英語学校を前身とし、1964年に大学設立と同時に開設され、35年の歴史を持っています。現在、経済学部では社会のニーズの多様化、情報化・国際化の進展の中で世界的

視野とマインドを持った学生の育成を目指しています。このような中で経済学部の再生を期し、実践的で問題解決能力を有する学生の育成を目指して、「政策学科」の新設を申請し認可されました。

経済学部は当初から経済学だけではなく、法律や政治さらには人文社会科学にも包括する幅広い「総合経済学部」として運営されてきましたが、「政策学科」を新設することによって、経済と政策分野を中心とするより現代的な「総合経済学部」に生まれ変わろう

としています。新設される「政策学科」では、経済学を基盤に、法律・行政を中心とする政策関連の幅広い知識を身につけ、現実の様々な問題や、政策課題を自ら見だし、解決する手法を学び、地域社会やビジネスに貢献できる有為な人材を養成することを目標としています。このように学習を通じて具体的な問題を自ら発見し、解決するために必要な知識を自ら収集し、解決手法を自ら考え、最終的に定の政策課題の解決の方法を実践的に学ぶことができる「問題発見・解決型」の教育を目指しています。

経済学部改革の特徴

経済学部では数年前から、学部改革を目指して様々な取り組みを行ってきましたが、その基本方向は、学生が学習内容を自ら選択し、学ぶ喜びを感じることができるとともに「の実現であるといえます。そのためには、学生の自主性を尊重し、それぞれの目的や欲求に対応できる実践的なカリキュラムの編成が重要となり、さらには学生にとってわかり易い講義内容と、試験・評価の公平性が求められます。このような教育に責任をもてる学部を実現することがわれわれの最終的な目標となります。

このような目標に基づいて作成された2000年カリキュラムは以下の特徴を持っています。できるだけ必須科目を少なくし、学生諸君が自発的に選択し、目的意識を持って学ぶことができる精選されたカリキュラムを編成し

経済学部長
名城 邦夫

ました。まず、基礎ゼミや、ミクロ・マクロ経済学などの入門的な科目による導入教育を重視し、経済学部の学習にとって基本的な知識を厳選して、「基礎的専門教育」に重点を置いた教育を行います。そのような学びの中から学生諸君が将来に向かっ目的を選択し、2年次以降それぞれの具体的な目標に沿った専門的・実践的科目が学習できるよう配慮されています。さらに、より実学的な「能力開発プログラム」と運動して社会学習や海外学習をとり入れ、一人一人の目標達成を支援して行くことを考えています。

以上のカリキュラムは、より充実した教育指導体制の実現によるのみ、その実を挙げることができません。まず、導入教育の中心である「基礎ゼミ」は1年次、さらに専門演習を2・3年次に設定し、4年次の卒業研究とともに1年から4年次までクラス担任制を実施します。それを前提に、「オフィスアワー」を設定し、週2回程度の学習や個人的な相談の時間を設け、学生と教員の接触を密にし、授業の理解を深め、学習意欲を高めるよう配慮しています。経済学基礎教育の中心であるミクロ・マクロ経済学は70人から80人のクラス編成で行い、学部の中堅若手教員が担当します。ここでは共通の教科書を使い統一的な採点基準で評価を行い、担当者が教育方法等を日常的に討議し、協力して教育に当たります。

以上のように、今回の「政策学科」の新設を契機に経済学部は生まれ変わろうとしています。





Topics

2年目となったシティーカレッジ1999

本学の社会貢献活動を積極的にすすめるため、昨年設置され、活動を開始したエクステンションセンターは、2年目の今年はその企画や内容の充実を図り、ますます市民の期待に応えられるよう配慮して各公開講座のプログラムを次のように計画し、一般社会に受講者の募集案内を行いました。

本学の各講座の受講料は無料で、全講座修了者には修了証を授与しています。また、受講者の利便のため本学「さかえサテライト(中日ビル 名古屋市中区栄)」が教室となっており、受講者から喜ばれ、受講者数の増加も見られます。

名古屋学院大学シティーカレッジ1999 プログラム

1 文化講座

イギリスの演劇 —シェイクスピアを中心に—

講師 新熊 清 本学外国語学部教授
日時 9月27日(月)から毎週月曜日 14:30~16:00 全10回

〔対談〕 —陶芸を語る—

講師 石川浩一 メナード美術館館長
鶴 勲 近代国際陶磁研究会会員
日時 10月9日(土)から毎週土曜日 14:00~16:00 全4回
参加費 第1回のみ600円(メナード美術館入館料)

2 環境講座

自然と人間 —地球の未来を考える—

講師 1.石川輝海 本学外国語学部教授
2.今村 薫 本学経済学部助教授
3.木村光伸 本学経済学部教授
4.大西成長 本学外国語学部教授
日時 9月27日(月)から毎週月曜日 18:30~20:00 全4回

3 コミュニケーション講座

英語で万博(初級コース)“Let's Speak in English”

講師 John Paul Hopkinson 本学非常勤講師
日時 9月30日(木)から毎週木曜日 14:30~16:00 全12回

英語で万博(中級コース)“Welcome in English”

講師 John Paul Hopkinson 本学非常勤講師
日時 10月1日(金)から毎週金曜日 14:30~16:00 全12回

4 国際講座

アメリカ精神の核心にせまる —キング牧師の生涯と思想—

講師 梶原 寿 本学外国語学部教授
日時 11月10日(水)から毎週水曜日 18:30~20:00 全5回

5 特別講座

日本再発見 今、日本人にとって欧米文明とは —キリスト教的理解入門—

講師 家本博一 本学経済学部教授
日時 11月20日(土) 14:00~16:00

日本再発見 なぜ日本人は中国人を誤解するか

講師 加地伸行 大阪大学名誉教授
日時 11月27日(土) 14:00~16:00

中欧ポーランドの歴史と文化 —シンポジウムと音楽の夕べ—

第1部 シンポジウム
「中欧ポーランドの歴史、文化、生活」
第2部 音楽サロン
「ショパンの夕べ 河合優子と共に」
日時 11月13日(土)
第1部 14:30~17:30
第2部 18:00~20:00
参加費 第2部のみ入場料10,000円
(パーティー代含む)

お問い合わせ先

名古屋学院大学エクステンションセンター
〒480-1298 瀬戸市上品野町1350
TEL 0561(42)1096 FAX 0561-(42)1097



1999年度

就職状況

99年度 就職戦線中間報告

就職協定が廃止されて以来、早期化・長期化・多様化・少数厳選の流れのなか、採用活動が行われています。

経済環境は極めて悪く景気低迷に伴い、採用人員の下方修正を行う企業が続出していますが、他社に先んじ《より質の高い学生》を採用したいという思いから早期に採用活動を行う企業、景気をにらみながら採用活動を行う企業の二極化現象をおこしています。

いずれにしても採用人員縮小により質の絞り込みつまり少数厳選主義がたかぬかれ、学生にとっては厳しい就職戦線となっています。以下、今年度の特徴的なことを報告させていただきます。

第1に早期化です。今年度は2月から合同企業展が開催され、3月には各企業独自のセミナー・説明会がめじろ押しとなりビュクを迎えました。この企業の採用活動は昨年と比べますと2週間前倒しです。また、一部の企業では4月から内定出しが始まり今年度Xデーは5月連休明けだと言われられました。(昨年より2週間前倒しです。)

第2に長期化です。夏あるいは秋以降の景気を睨んで採用活動を行うケースの他に、春・秋採用、通年採用の企業がでてきており採用窓口が常に開かれている。というイメージを強く与えています。(実際には第1で述べました通り短期決戦です。秋採用・通年採用は、確かに新卒も対象にしていますが、メインはキャリア組です。長期化という言葉に惑わされないよう各企業の採用スケジュールを正確に把握しておくことが必要です。)

第3に多様化です。各企業により採用・選考方法が

今年の就職戦線体験

私の就職活動

面接が終わる度に反省をして、対策を考えたい



経済学部 細川敦史
[内定先 / 大正製薬(株)]

私は就職活動については今年の1月からなんとなく考え2月に資料請求を30社ほどしました。業界についてはあまり考えず、適当に出しました。そして4月頃から返信のあった企業の説明会に参加しました。参加した企業は10社程度でその後試験や面接を受けにいったのが6社で業種はバラバラでした。その中で最終面接までいったのが2社。そのうちで内定が1社で、今から考えるとちょっとたくさん受けておくべきだったと思います。内定した会社は、まず筆記・適性試験を受け、その後面接が3回でした。しかし、最終の3次面接が受かって内定かと思ったらさらに2人落ちるということで、受かった気にさせてまた落ちるという残酷なものでした。結果も2週間ほど待たされ、そのころには受ける会社も残っておらず中途半端な状態だったので、「落ちたらどうしよう。」「と胃の痛い毎日でした。受ける会社もとあれば精神的に楽だったと思います。結局第1希望の会社に受かったわけですが、なぜ合格できたのだろうかと考えると筆記試験は数字的な要素が大きく自分の得意分野であったこと、面接は会社側が長い時間をかけて面接してくれていたことが幸いしました。基本的に面接官の方はやさしい方が多く、なにかと注意をされたのに、1次面接が受かっていたのが大きかったと思います。そして、私は面接が終わる度に反省をして次の面接に生かし、そして様々な対策を考え、色々と「コミュニケーション」をしていたのが良かったのでしょうか。最後に、私は運良く内定を得ることができましたが、様々な人に協力を得ることができました。自分の家族、友人、知人、大学の就職課の方々などに助けを頂いたおかげで合格できたと思うので、感謝の気持ちを忘れずにこれからもがんばっていきたくと思います。

私の就職活動

仕事を選ぶ基準は、自分と相性が合うか確かめて



商学部 織田智江
[内定先 / (株)ユーストア]

私は総合スーパーでアルバイトをしていることから、販売という仕事に興味を持ち、就職は必ず流通業界と決めていました。しかし、12月に資料請求を始めたころは、なかなかやる気がおこりませんでした。八分キも少ししか出さず、自己分析もあやふやな状態で販売がしたいと思う気持ちばかりあせて、行動に移せず、就職はしなくて活動するのが面倒くさいと嘆く毎日でした。そんな私が変わったのは、同じ業界を目指す友達と意見交換や現状報告をし始めたころからでした。友達のあまりの進み具合に不安になり、負けられないと思ったのがきっかけでした。そして私が、会社を選ぶポイントとしたのは、まず販売ができること、もうひとつ、会社や人事の方の説明会での雰囲気自分と合うかどうかということでした。特に販売は人とのコミュニケーションがなければ成り立たないから私になじめなければ、その中で仕事をするにはできないと考えたからです。人はそれぞれ選ぶ基準があると思うけれど、それを自分なりに決めておく、といいと思うこと、いろんな友達と話をすることは、就職活動の中で大切だと思いました。入社してからは、女性はとも少ないけれども、男性と同じくらい頑張って仕事をしたいと思っています。



異なってきました。さきほどの春秋、通年採用これも採用の多様化です。また、ポダレス採用(国籍・性別・年齢を問わない)・インターネットによる採用、大学名不問論文の事前提出・エントリーシート集団面接、集団討議・プレゼンテーション型面接、ディベート面接等を実施する企業が増加しました。(まさに採用の多様化、選者の多様化です。)

第4に質の厳選です。今一人採用すれば、生涯賃金が3億かかると言われています。量より質の時代です。採用人数の縮小により質の絞り込みが徹底され採用基準が下げられませんでした。(今年6月に発表された、大卒求人初の0.9倍)つまり大学を卒業する学生に対する企業の求人倍率が初めて100倍を割り込んだ。という背景も大きな要因となっています。)

以上が今年度の特徴であり次年度の留意点です。なお現在就職活動をしている人は就職課と連携を密にし積極的に企業へアプローチして下さい。

主な就職内定企業(7月31日現在)

熊谷組、シーテック、新菱冷熱工業、積水ハウス、東新住建、日本建設工業、井村屋製菓、カネ食品、名古屋製菓、日本たばこ産業、新日本法規出版、岐阜プラスチック工業、大協薬品工業、大正製薬、河村電器産業、マスプロ電気、エフ・シー・シー、大豊工業、テクノエイト、豊田鉄工、河合楽器製作所、ファイブ・フォックス、モリリン、ヤマタヤ、昭和、東海食品、東海製粉、アズエル、資生堂販売、中北薬品、マックスファクター販売、キヤノンコピア販売、四国リコー、杉本商事、富山クボタ、トヨタエルアンドエフ岡山、フォーバル、福井リコー、本間ゴルフ、コソリ、清水屋、ジャスコ、スーパーサンシ、トヨタ生活協同組合、ドミト、パロ、松電商事、ヤマナカ、ユーストア、青山商事、メガネット、アトム、日本マクドナルド、エイデン、マツセン、ヒマラヤ、モンテカルロ、東海銀行、岡崎信用金庫、蒲郡信用金庫、瀬戸信用金庫、東春信用金庫、東濃信用金庫、豊橋信用金庫、半田信用金庫、富士信用金庫、セントラルファイナンス、日立クレジット、三菱電機クレジット、東海丸万証券、丸三証券、第一証券、第一生命、日本生命、五洋海運、フジトランスポート、間口運輸、サカイ引越センター、トランコム、N.T.T.東海移動通信網、ノバ、アイサンテクノロジ、セイノー情報サービス、ジエール東海ホテルズ、リゾートトラスト、東急観光、キムラユニティ、セノン、総合警備保障、西尾レントオール等。

私の就職活動

就職活動においては、自分の意見と思いを持つべき



外国語学部
永井 孝子

[内定先 / (株)ジェイアール東海ホテルズ]

就職活動を始め、4カ月後に私はかねてから希望していた会社から内定をいただきました。その間、受験したのは2社でした。1社は企業展に出展していたある会社で、人事担当の方のお話に乗せられて受験したものでした。もう1社は私が希望するホテル業界の会社でした。多数会社を受験するのも活動方法の一つですが、私は1社を熟知した上で、この会社に対する自分の思いをわかってもらいたいと考え、1社受験の方法を選びました。会社研究のためにホテルに足を運び、自己分析のために日頃のアルバイトに力を入れ始めました。次第に接客時の自分を客観視するようになり、自分の長・短所を再確認することができました。また、接客時の会話の中に少しずつ謙譲語などを混ぜることで自然に敬語が使えるようにもなりました。他社の採用試験がなく、時間にかなり余裕があったため、自分の意思をしっかり固めることができました。これが私の活動内容です。活動を通して感じたことは、自分の意見を持つことの重要性でした。またそれを何処からも引用せず、自分の言葉で表現することが、就職活動だけでなく様々な面において必要であると思いました。

私の就職活動

面接で人に差をつけようと思った



商学部
日比野 潤

[内定先 / 東急観光(株)]

私の就職活動は3年生の2月に始まり4年生の7月後半の企業からの内定です。1つ1本の電話が終わりました。最終的には、2社から内定をもらいました。就職に対してどうかなるという考えは4年生にならなければなりませんでした。旅行業界という人気のある業界にしようと思ったのですが、まず8カキを出しても返事が無い企業や、採用の予定のない企業などが半分以上でした。この時点で業界をしばらく考えたいとも危険を感じましたが最終的に旅行業界のみの就職活動に決まりました。このことが良いか悪いかは個人の意見によりますが、私は反対です。なぜなら就職試験を受ける企業の数かなり減ってしまうからです。私は最終的に7社しか試験を受けていません。会社説明会や面接の日が同じになってしまっているからです。効率が悪くなってしまうと思います。7社受けた中で、書類選考で落ちたのは2社です。その他は面接を受けたのですが、やはり1次面接は集団面接がほとんどでした。私が就職活動において一番のポイントになると考えたのはこの面接です。学力試験は他の人も同じく同じ勉強しており、大差はないのです。履歴書においてもそうです。資格は誰もが持っているのです。ある企業においては2次面接のとき、5人中4人が国家試験に合格していました。国家試験を武器に就職活動しようとした私ですが、それは当たり前だと気付きました。それならどこで他の人に差をつけるかと考えたらやはり面接でした。集団面接はそれを発揮できるところの場所です。どれだけ自分の意見を言うことができるか、どれだけオリジナリティのある発想ができるかが人に差をつけるための鍵です。学力試験には答えがありますが面接には答えがないので、自由に答えを作ることができると思えば簡単なことと思えるはずです。最後に、就職活動をするに当たってあまりめんどいという気持ちでも大丈夫です。友達の内定をもらったと聞いて、自分が夏まで内定がもらえなかったとしても、あまりめんどいという強い精神力をもて就職活動をするのが大事です。

共生の杜の今



尾張瀬戸駅前からスタートした陶磁の里の散策もいよいよ佳境にさしかかり、今回は瀬戸の風情をふんだんに見せてくれる窯垣の小径へと行くつもりであったが少々道草の必要が生じてしまった。ご存じのように瀬戸は万博襲来、いや誘致のおかげで二百年の歴史にあぐらをかいた陶磁器の街からいよいよ脱皮する時がきたはずなのに、街を歩いても、誰に聞いても、

なにやら再生の迫力に欠ける。ここの上ない状態であった。その上、「どうして?」「と置いている。大変なことが起きてしまった」のだ。そこで陶磁器散歩はちょっとお休み。

いわゆる海上の森が「万博予定地」となると以来の争乱は今も途絶えることなく続いている。とはいえ現在のそれは賛成反対入り乱れての大騒ぎの段階を過ぎ、開催決定とそれを揺るがせる「オオタカ」の問題が集約されてきた。5月に出現した「営業するオオタカ」



瀬戸大正池

は結局繁殖に成功することなく今年の季節を終えたが、その波紋はとてつもなく大きかった。博覧会協会や愛知県は驚くべき素早さで、会場の分散化を決め、オオタカにふれることさえなければ自然との共生が出来るかのごとき論調をマヌコミはあおり立てた。でも、何か変だよと「コースン先生は釈然としないまま、騒ぎを眺めている。

「海上の森」でEXPOをやろうと決めたとき以来、県や協会はなんといってきたのだろう。「海上の森」は瀬戸の陶磁器産業やその他の人間活動が自然の表面を利用(破壊)したあとに、営々と築かれた人手の加わった自然であり、いわば日本の里山を象徴するようなどころである。だからこそ新しい人間の作用(開発)が、今までにはなかった人間「自然システムの提示に繋がる」ということではなかったのだろうか。こんな風に博覧会協会がきちんと認識していたかどうかはともかく、人間と自然との新しいつきあいがここから始まる、というのがEXPO2005のメイン

テーマ、自然の叡智、新しい地球創造の本意だと思っただ。まあここで、計画当事者の悪口ばかり言っても始まらないのでそれではどうすれば瀬戸とEXPOが「共生」というテーマで繋がるのかを考えてみよう。海上の森は瀬戸市の南東部に広がる丘陵地の一角をさす。一帯は元々古窯を見いだすことのできる、いわば瀬戸陶器産地の心臓部のようなものである。この辺りは風化した花崗岩地帯が裸出して脆い地形が緩やかに連なっている。その上を覆う

ていた照葉樹林はとつと昔に切り払われて何度も再生した落葉樹が里山景観を創り出した。もともとかなりの面積をかつて県が積極的に「スギ・ヒノキの一斉林にしてしまったから全体として見た目は決して良くない。にもかかわらずこの森がもてはやされたのは、脆い地形が創り出した小深谷という



より丘陵地の巔に自然が残っていたからに他ならない。たまたま人手ではとつともならなかった小さな空間が水辺を好む脆弱な植物を守り、その植物群に依拠する動物相を保存したのだろう。それ以外は長期に放置された二次林にすぎない。この偶然としかいえない結果の産物が「かけがえない自然」というわけだ。だが偶然とはいえ名古屋のような大都市の近傍に「このようにまとまった形で弱い自然が現存すること自体は、かなり珍しいことではあり、その取扱いに注意が必要であることは当然である。けれども、だからといって海上の森を世界遺産のごときサンクチュアリだとする短絡思考には首肯できない。

海上の森のシンボルのひとつに「瀬戸大正池」がある。焼岳の噴火が創り出した自然の妙ともいえる本物の大正池とは似て非なる、人工的に造成された海上砂防池がその中に多くの木々を立ち枯らせた残骸を無惨に直立させる。それこそ自然破壊の象徴のような景色を見て、「きれいだね」「こいつは自然は残してほしいね」などという「自然愛好者」に「自然の叡智」が本心に理解されるのは一体いつのことなのだろうか。

(経済学部教授 木村光伸)



翻訳を 読む楽しみ

私たちがふつう翻訳作品を読むと言う場合には、ある国の作品を日本語の訳文で読むということだろう。ところが、ある外国語をマスターしている人ならば、その外国語に訳された他の国の作品を読むことも含まれるに違いない。たとえば、中国語が読めれば、中国の文学作品だけでなく、中国語で訳された他の国の作品にも接することができるのである。

私が愛蔵する本の一冊に『郁金香集』という中国語の詩集がある。これは「波斯古典詩選」という副題がつけられているように、古代ペルシャの詩を翻訳したものである。これらの詩には、いわゆる「漢詩」とはだいぶ異なる印象を与える作品が少なくない。

たとえば、10世紀の詩人ルーダキー（中国語訳は魯達基）の詩は、日本語に訳せばつぎのようになる。

- @黒い眼の彼女と一緒になら、
- @楽しみがあるだろう
- @世界は、瞬間の幻と似ている
- @楽しく未来を迎えようとするなら
- @往事を振り返って悲しむな
- @私とあのやさしい恋人
- @私は彼女と幸せのために生きる
- @選ぶことのできる人は幸せだが
- @薄情な守銭奴は幸せではない
- @ああ、今の世界は捏造と塵芥であるから
- @しばらく杯を取り痛飲して自分を慰めよう

中国語の訳文がどれだけ正確かは不明であるが、幸い黒柳恒男教授の『ペルシャの詩人たち』（東京新聞出版局）に同じ詩が訳されていて比べるとができる。

- @楽しく生きよ、黒き瞳の美女たちと
- @この世は幻、一瞬の風
- @未来を楽しく迎えよ
- @過ぎし日を思い起こすな
- @私と香り漂う巻髪の乙女
- @私と天女のような美女
- @恵み楽しむ者は幸福な人
- @楽しまず恵まぬ者は不運な人
- @ああ、この世は過ぎ行く雲と風
- @酒を持ちきたれ、なるようになれ

小説や物語と異なり、訳詩では原詩の韻律が消えてしまうので中国語で読んでも日本語で読んでも同じであろう。日本の作品では得られない感動を覚えることができればよいのだろう。この『郁金香集』という本の中には随所にカラーの挿絵が入っていて読者にペルシャの雰囲気を感じさせる工夫が凝らされている。

日本は翻訳大国であり、多くの国の作品の翻訳がなされている。たとえば、古代ペルシャの詩も代表的な作品はかなり訳され、オマール・カイヤムの『ルバイヤート』は特に有名であろう。苦勞して中国語や英語で読まなくてもよいかももしれない。しかし、それは欧米諸国の作品とか古典や代表的な作品の場合であり、アフリカ、中近東や中央アジアなど世界各地の作品は英語や中国語に訳されていても日本語では読めない作品がいくらでもあるだろう。日本語による翻訳がなくても、英語でも中国語でもよいから、多くの翻訳作品を読むならば、そこから新しい発見をし、自分の視野を広げ、自分を豊かにすることができるだろう。



「郁金香集」

にしわき たかお
西脇 隆夫（外国語学部教授）
担当科目：中国文学

Seminar訪問 27

岸田ゼミ



岸田ゼミは開設24年目のゼミです。以前からコンピュータ社会に適應できる学生を育てるとの方針でゼミを運営してきました。人工知能、ネットワーク分散システムデータベースなどを利用した会計関連のシステム開発や実験、会計教育支援システムの開発などをテーマとした研究をしています。ゼミでコンピュータに興味をもつためかコンピュータ関連企業で活躍している卒業生も多くいます。

ゼミの主な目的は、学生諸君が特定のテーマにしたがって卒業論文を作成するための指導をすることにあります。研究テーマについて各種資料を検討し、まとめあげる過程で生じた疑問についてアドバイスする場であり、講義をするところではないという基本方針で運営

しています。自分でいろいろ悩み苦しんだ末に意見を求めてくる学生には適切なアドバイスをするようにしていますが、何の準備もしていない、自分から積極的に活動しない学生には丁寧な指導は一切しないことにしています。

ゼミは自分たちの研究の場ですので、ゼミ生が運営しやすいように自主管理させています。お互いの意見交換が可能ないようにグループ研究を中心に3・4年合同で運営されています。新ゼミ内定学生にプログラミングや画像処理、ホームページの作成などの基礎を教えるためのサブゼミは3年次生が担当しています。ゼミは10時からスタートし、各自の予定が終了するまで行われています。卒論のまとめに時期が来ると夜9時ごろまで続くこともあります。ゼミでは4泊5日の予定で、春のスキー合宿と夏の論文作成を目的とした合宿が行われていますが、この運営も自分たちで行っています。

何でも自分の力でやるといつ運営方針から、学生諸君が苦しみながら成長する姿や、ほかの学生と協調しながら自分の考えを主張することができるようになっていく過程を眺めている時ほどつわしいことはありません。彼らが今後社会で活躍することを祈っています。

(商学部教授 岸田賢次)



国際交流 NETWORK

海外姉妹校紹介

長期留学派遣校

アメリカ ミシガン州

カラマズー大学

(Kalamazoo College)

カラマズー大学は、1888年に創立されたミシガン州で最初の大学であり、アメリカでもっとも歴史のある大学のつに数えられます。開学時から少数精鋭主義を徹底したりベラール・アーツ・サイエンスの名門私立大学でエリートを養成する大学として長い実績があります。92人の教員のほとんどが博士号を取得しており、約1,250人の学生を指導しています(教授1人当たりの学生数は約12人)。学生同士の競い合いは激しく多くの学生が同大学卒業後ハイバードやイェール、スタンフォード大学といった有名校のメジャー・スクールやロータールに進学しています。小規模ながら25専攻と24の特別プログラムを有する総合大学です。

学業や学生生活に対する学生の評価はとても高く、整った施設や環境に非常に満足しているようです。郊外に位置しているのに落ち着いた環境で勉学に励むことが出来ます。大学が推進している「Kカラマズー」ブランドと呼ばれる海外留学やインターンシッププロ

グラムには85%以上の学生が参加しており、将来のキャリアに向けて熱心に取り組んでいます。海外留学プログラムでは過去30年に渡り、世界各国の大学と交流を行っており、本学との交換留学制度は1993年に始まって以来、これまでに何名もの同校の学生を受入れてきました。同時に、本学からも優秀な学生が派遣されています。

シリーズ Circle 短信

少 林 寺 拳 法 部

体育会

少林寺拳法「これは皆さんよく耳にされる言葉だともいます。ですが、実際それがどのようなものか、ご存知の方はあまりいらっしゃらないでしょう。皆さんに伺ってみれば、大抵の方からは「空手と同じでは……?」と違うの?」という答えが返ってくるのではないのでしょうか。ですからクラブ紹介の前にこれについて少し説明してみたいと思います。

少林寺拳法は、自分自身をいじめるような状況においても信頼し、頼ることのできる人間に成長させ、その自分を皆のために利用し、世界を明るくして行くこととするものです。

武道としての技法面では突・蹴・極・投のすべての要素を含み、柔能く剛を制すの言葉どおり、いかに小さな力で大きなものを対処するか、それを追求したものです。

以上のことからもお分かりになるように、老若男女を問わず強くなりたい方はもちろん、体が弱くそれを克服したい方、精神を鍛えたい方、自分の身を護れるようになりたい方など、どのような方でも行える、それが、少林寺拳法なのです。

私たちの部は総勢31名で、平日の昼休みを利用して、その修練を通じて自

己の、あるいは人の育成に励んでおります。当部では、秩序のなかにも自主性というものに重きを置いておりますので、普通一般に描かれる体育会系のイメージとは少し違った雰囲気、楽しみながら活動しております。その結果、今春開催された東海大会では男子4名、女子1名が優秀拳士として賞を受けました。その他「」での活動によって、集団生活の中で自分をどのように動かせば良いのか、どうすれば自分にとって、みんなにとって有意義になるのか、それを学ぶことができます。ですから、大学生活が充実したものになるばかりでなく、社会に出て有用となるものも必ず得られるでしょう。

私たちの部に限らず、「」のような成長の場が、皆さんのまわりにもたくさんあるはずです。ぜひ、度、そんなところに足を運んでみてはいかがでしょうか。きつと後悔はしないでしょう。

(外国語学部 中国語学科 3 年 根木 邦典)



漫 画 研 究 会

文化会

我々漫画研究会はその名の通り、漫画を描きその作品を発表する事を活動としているサークルです。現在の部員数は27名で、活動は年2回の誌発行と年2回のイラスト展示会の2つを活動の軸としており、その他にも毎月何らかの小冊子を作成しております。

みなさんは、漫画を描いたことはありませんか。大半の人は描いたことがないと思います。我が漫画研究会に所属する部員の大半も、サークルに入ってから初めて漫画を描く者ばかりです。普段の生活では漫画を読む機会があっても描く機会は全く無いと思います。では、なぜわざわざ漫画を描くのかと思う人もいるかもしれませんが、我が漫画研究会では漫画を読むだけでなく描くことにより、漫画をよりよく知り、漫画によって自分の考えや世界を表現しようとしております。しかし、実際漫画を描いて初めて解ることですが、漫画を描くことは思った以上に難しいです。なぜなら、漫画は幾つかの絵を使い、作品に動きを与え、物を表現しなければなりません。ですので、漫画を描くには多くの技術を必要とします。漫画研究会ではこの技術の向上をさせ、より良い作品作りを目指しております。

現在、漫画研究会の作品をみなさんが見る機会はありませんように思われます。我が漫画研究会の活動の中心である誌が、部員分と他大学の漫画研究会へ配る分を刷るのが精一杯というのが現状です。そのため、大学内での発表はイラスト展示会のみになっており、みなさんに活動をあまり知られておりません。しかし、これからの活動は漫画研究会のホームページ作成、コンピュータグラフィックスへの挑戦と漫画だけでなく、マルチメディアに活動を広げて行きます。これにより漫画研究会の活動がみなさんに知られるようになれば幸いです。

今後の主な活動としては大学祭期間中六合館にてイラスト展示会を行う予定です。イラスト展示会会場では誌の「MIXISM」も展示しておりますのでお気軽におこし下さい。

(経済学部 3 年 山口 浩司)



1999年度 学部長表彰

1999年度 学部長表彰者 (学業成績優秀者)

学業成績優秀者に対する学部長表彰授与式が6月23日(水)午後1時30分より本学第3会議室で行われました。
表彰されたのは下記80名のみなさんで表彰状ならびに学業奨励金(1人50,000円)が学部長よりそれぞれ授与されました。

経済学部 経済学科					商学部 商学科						
2年	永松 誠	吉田 達	加藤 宏行	丹羽 千尋	近藤 幹和	山口 大輔	2年	中嶋 孝志	児玉 美幸	山田 裕子	熊谷 彩子
稲田 拓郎	野崎 庄哲	3年	壁谷 剛	野尻 一樹	丹羽 康之	矢彦沢卓郎	大嶽 良枝	見野 綾香	小山 俊彦	4年	鈴木 宏美
岡本 高志	平川 敦英	縣 恒	櫛田 貴弘	4年	服部 秀之	山本 雄貴	榎原 祥仁	山本 那美	鈴木 一代	秋田 大策	仙石 幸弘
小林 英隆	細江 啓太	浅井 貞孝	栗山 将和	青木 和也	樋田健一郎		櫻枝 寿美	3年	野村 朋子	伊藤 寿収	二村 政恵
柴田 洋平	山崎 真司	石黒千亜紀	田中久美子	大間 充彦	細川 訓弘		桜井 公平	伊藤 天公	松井 美樹	稲垣 杏奈	村田 瞳美
西本 光宏	山田 隆史	小島 成人	南浜 隆幸	大星 幸子	森 芳美		渋谷 英里	今井 由梨	山内 朋子	岩松洋一郎	
外国語学部 英米語学科					外国語学部 中国語学科						
2年	塚平 健高	3年	片桐奈緒美	4年	山田真紀子	2年	柴田 麻衣	3年	瀧本 真希	4年	木本 かおり
岡田 麻里	南部 勝哉	犬飼 幸子	神谷 茂樹	戸田沙緒里	吉田貴美子	高柳 さおり	水野 公代	駒月 孝恵			
小川 陽子	江頭 正顕	成瀬紗耶香									

1998年度同窓会表彰クラブ

大学同窓会よりのほど右記のクラブが、6月23日(水)午後1時より本学第3会議室において、1998年度優秀クラブとして表彰され、占部憲一会長から各クラブの主将に目録が授与されました。また表彰状のほか同窓会支援金としてスキー部に100,000円、ほかの7クラブに50,000円が授与されました。

- アーチェリー部
- スキー部
- 馬術部
- ゴルフ部
- ソフトテニス部
- ラグビー部
- 水泳部
- ハンドボール部

教育振興資金

募金の御礼とご報告

標記の募金につきまして、皆様には、ご支援・ご協力を賜り心から厚く御礼申し上げます。
1999年4月21日から1999年8月31日までにご寄付いただきました方につきまして、感謝をもってご報告申し上げます。
今後とも本学へのご支援をよろしくお願い申し上げます。
(学校法人 名古屋学院大学理事長 名古屋学院大学教育振興資金募金委員長 内山 道明)

寄付者ご芳名(順不同・敬称は略させていただきます)

父母会関係											
青木 常高	市原 義武	大澤 光史	金屋 利治	北村登美朗	篠田 一彦	瀧本 伸八	都竹 孝夫	野村 正幸	平松 則行	松原 徳政	安井 義明
青木 康男	伊藤 賢司	大島 一彦	釜田 富男	木上 隆幸	柴田 貞明	竹内 一廣	手塚 章	長谷川和尚	廣辻 邦彦	松原 朝男	山下 賢二
上倉 岩男	伊藤 定男	大島 劭	神本 良雄	金原 公夫	柴田 進	竹内 林	寺井 純一	長谷川時彦	廣橋 清勝	松本 久良	山城 正彦
浅井 利次	伊藤 均	大瀬 常男	神谷 光昭	桑原 孝吉	清水 雅明	竹崎 哲夫	寺田 寿徳	長谷川秀雄	福田 恵子	真弓 豊	山田 廣次
浅尾 一郎	伊藤 誠	大塚 満美	神谷 太一	桑原 国数	白井 国数	竹田 斉	寺本 正弘	長谷川正親	藤田みすず	三鬼 哲紀	山中 周一
浅野 剛	稲田 勝美	大坪 弘明	神谷 正典	小竹 直美	末松 純夫	田坂 誠二	鳥原 武泰	長谷川幸雄	藤貫 延久	水野 謙一	山村 亮介
足立 安博	犬飼 幸則	大藪 芳幸	亀山 礼子	小林 敏彦	杉江 辰司	谷合 徹	中川 隆英	波田野邦三	二村 文昭	峰 等	山本 政克
安部 昭宣	井上 義隆	大脇 武則	河合 章夫	小林 稔	杉永 厚	谷口 和愛	中島 寛孝	服部 隆明	古田 秀一	三宅 晃	山本 吉郎
安藤 典明	今枝 秀隆	岡崎 邦男	河田 敏雄	近藤 光治	杉本 吉章	谷口 光雄	中嶋 龍法	林 茂	細矢 章子	三輪 芳裕	横井 定明
安藤 稔	岡田 信幸	河田 良三	河田 良三	後藤 忠治	鈴木 明久	玉腰登岐男	中濱 健二	原田 繁郎	堀 武彦	武藤 功	横関 敏敦
尹 大植	岩田 勝博	岡野 清重	川原 弘信	斉藤 章	鈴木國市郎	田村 和則	中村 弘昭	原田 正美	堀井 辰夫	百瀬 正幸	横山 良郎
飯山 一彦	岩田 芳夫	岡本 孝好	川本 裕公	斎藤 英夫	鈴木 孝尚	田谷 正	長江 孝男	日紫喜慶貴	堀尾 吉春	森 勝廣	吉田 鈴子
猪飼 忠昭	岩間 信子	小川 勝次	官部 三朗	斎藤 哲夫	鈴木 倫保	丹下 敏彦	長坂 健市	桶田 裕志	本間 房志	森 直	吉田 又太郎
石井 一夫	上原 薫	桶谷 省三	木内 信夫	酒井三代和	鈴木 康博	反田 俊丕	長瀬恵八郎	日比野 隆	前 義春	森 康栄	吉村平八郎
石川 健昭	上村 幸次	小野木正和	菊地 静雄	酒徳 昌之	鈴木與左衛門	津志田征英	長野 史郎	日比野基伸	牧野 好市	森川 敏広	若尾 宗孝
石原 憲夫	内田 水穂	片山 卓	菊地 二男	佐久間幸夫	住田 益三	津谷 信秀	鳴海みち子	平井 範幸	牧野 正義	森口 慶悟	鷲野 剛三
石原 征	内山 陽子	勝部 忠男	岸 春徳	佐藤 隆一	高橋 雅之	辻村 敏明	西島 善信	平野 紳一	牧野 安子	森田 悦生	渡辺 敬治
石原 祐一	江坂 貞美	加藤 修	喜多 敦公	佐野 博美	高原 昭男	辻 進	西村 康彦	平野 肇	松浦 英治	森本 修	渡辺 幸
泉 光雄	大久保敏之	加藤 勝彦	喜多 直人	佐野 由男	高松 正義	辻 友良	二之宮貞三	平野 雅典	松重 誠一	森本 誠	238件 3,925,000円
市川 貴三	大鹿 義幸	加藤 政夫	北岡 博司	澤田 重夫	高宮 弘	高宮 弘	野上 幹正	平松 勇	松平 照剎	安井 義昭	
法人関係			教職員関係			役員・募金委員					
豊田スチールセンター(株)	梅津 和郎	梶田 建夫	スタインバーグ・美穂	永田 坦	三井 哲	15件 780,000円	内山 道明	小出八州男	5件 730,000円		
	大倉 晴男	梶原 壽	高橋 公生	丹羽 利男	村田 貞雄		佐藤 自郎	藤田 行政			
	小野田茂利	鈴木 啓司	玉木 武義	深見 勲	山本 孝幸		笠原 英城				



決算と予算

1998年度決算と1999年度予算の概要は別表のとおりです。以下に事業内容の主なものを説明します。

学校法人名古屋学院大学の1998年度決算と1999年度予算の概要は次のとおりです。学校法人は「学校法人会計基準」に従って会計処理を行っています。以下、同基準に定められている、「資金収支計算書」、「消費収支計算書」、「貸借対照表」について開示いたします。

学校会計は、「経営の状態を見る」消費収支計算書と「資金繰りの状態を見る」資金収支計算書および「財政の状態を見る」貸借対照表により表示されています。当然この3つの計算書は相互に密接な関係があり、経営状態の善し悪しは、消費収支が均衡状態（消費収入＝消費支出）であるか否かが一つの判断基準になり、また、収入＝支出であれば資金繰りに窮することはないこととなります。その結果は、財政の状態を表す貸借対照表上の正味財産の増加に繋がることとなります。

1998年度決算

消費収支計算書では、3,500万円の支出超過となり、「均衡の状態」とは言えませんが、比較的近い状態の決算となりました。予算段階での当年度消費支出超過額は1億4,600万円でしたので、決算では1億1,000万円減少したこととなります。なお、翌年度繰越消費支出超過額は6億3,000万円残ることになるので、本学財政状況の健全性・安全性の確保に向けた更なる努力の継続が求められます。

資金収支計算書では、資金繰りの様子を見るのは「繰越支払資金」ですが、前期末が16億6,000万円、98年度末が30億2,400万円ですのでこの年で13億6,400万円増加したこととなります。これは財務比率のバランスを計るため、固定資産（引当特定資産）を支払資金にシフトしたことによります。この要素を除けば約1億円の増加となります。

貸借対照表では、1998年度末の本学の総資産は170億7,100万円となっています。

資産の部合計から負債の部合計を差し引いた純資産額は137億8,300万円（対前年度比9億3,300万円、7.3%増）となっています。

1999年度予算

消費収支計算書では、消費収入は、帰属収入58億5,700万円から基本金組入額7億7,600万円を差し引いた額50億8,100万円となります。消費支出は49億3,800万円となり、当年度の収支の差は収入超過額が1億4,300万円となっています。したがって、翌年度繰越消費支出超過額は4億6,000万円対前年度比23.7%減となっています。

資金収支計算書では、当年度の予算規模は90億4,500万円（対前年度比0.4%増）となっています。資金繰りの様子を見る次年度繰越支払資金の額は、31億5,800万円対前年度比1億3,400万円の増となっています。厳しい財政環境にありますが、今後とも一層の教育活動・教育環境の充実整備に努めていく所存です。

1999年度の主な事業内容

- ・新学科設置申請（政策学科2000年度4月開設入学定員150 編入学定員30）
- ・NGUバス運行（スクールバス 高蔵寺・新瀬戸の2路線）
- ・情報教育推進（ノート型パソコンを全学生に配布・第6期電子計算機システム）
- ・留学生の派遣（長期・中期・短期留学制度）
- ・就職対策講座（公務員講座・企業対策）
- ・課外活動補助（サークル活動補助・大学祭実行委員会補助・スポーツ保険）
- ・奨学金（日本育英会奨学金・学内奨学金）
- ・健康診断（定期健康診断・エイズ予防講演会）
- ・CS（通信衛星）TV受信設備設置（LL、CAIの語学教室）
- ・机・椅子更新（六合館6階4教室）
- ・教室設備機器整備（AV設備・スクリーン・暗幕・VTR設備）
- ・図書館機械化業務（トータルシステムCALIS）
- ・図書館1階改修（11万冊収納書庫増設）
- ・体育館設備改修（体育館内教室空調設備・ランニング走路マット等改修）
- ・父母懇談会（開催地/金沢・浜松・岡山・名古屋）
- ・エクステンションセンター（名古屋学院大学シティーカレッジ1999文化講座・環境講座等）

1998年度決算及び1999年度予算

● 資金収支計算書

（単位：百万円）

収入の部			支出の部		
科目	'98年度決算額	'99年度予算額	科目	'98年度決算額	'99年度予算額
学生生徒等納付金収入	5,019	5,200	人件費支出		
手数料収入	201	205	教育研究経費支出	3,000	2,888
寄付金収入	18	15	管理経費支出	1,090	1,194
補助金収入	386	324	借入金等利息支出	480	470
資産運用収入	70	57	借入金等返済支出	14	13
資産売却収入	0	0	施設関係支出	166	155
事業収入	19	24	設備関係支出	266	106
雑収入	103	32	資産運用支出	116	123
借入金等収入	0	0	その他の支出	682	659
前受金収入	1,145	1,023	予備費	450	396
その他の収入	1,590	315	資金支出調整勘定	0	70
資金収入調整勘定	1,201	1,174	次年度繰越支払資金	278	187
前年度繰越支払資金	1,660	3,024		3,024	3,158
収入の部合計	9,010	9,045	支出の部合計	9,010	9,045

● 消費収支計算書

（単位：百万円）

消費収入の部			消費支出の部		
科目	'98年度決算額	'99年度予算額	科目	'98年度決算額	'99年度予算額
学生生徒等納付金	5,019	5,200	人件費	3,002	2,877
手数料	201	205	教育研究経費	1,393	1,501
寄付金	41	15	管理経費	511	497
補助金	386	324	借入金等利息	14	13
資産運用収入	70	57	資産処分差額	2	0
資産売却差額	0	0	予備費	0	50
事業収入	19	24	消費支出の部合計	4,922	4,938
雑収入	120	32	当年度消費収入（支出）超過額	35	143
帰属収入合計	5,856	5,857	前年度繰越消費収入（支出）超過額	568	603
基本金組入額合計	969	776	翌年度繰越消費収入（支出）超過額	603	460
消費収入の部合計	4,887	5,081			

● 貸借対照表

1999年3月31日現在

（単位：百万円）

科目	本年度末	前年度末	科目	本年度末	前年度末
資産の部			負債の部		
固定資産	13,926	14,530	固定負債	1,593	1,750
土地	1,953	1,953	長期借入金	489	541
建物	4,695	4,634	学校債	186	293
構築物	692	716	退職給付引当金	918	916
機器備品	301	311	流動負債	1,694	1,690
図書	1,632	1,565	短期借入金	52	51
車両	18	26	未払金	274	261
建設仮勘定	0	0	その他の流動負債	1,368	1,378
その他の固定資産	4,635	5,325	負債の部合計	3,287	3,440
流動資産	3,145	1,760	基本金の部		
現預金	3,024	1,660	基本金	14,387	13,417
その他の流動資産	121	100	基本金の部合計	14,387	13,417
			消費収支差額の部		
			翌年度繰越消費支出超過額	603	567
			消費収支差額の部合計	603	567
			負債の部・基本金の部及び消費収支差額の部合計	17,071	16,290
資産の部合計	17,071	16,290			

1999年度 父母懇談会開催



父母懇談会	会場別参加者	8月28日(土)金沢	56名
8月21日(土)岡山	43名	9月4日(土)名古屋	168名
8月28日(土)浜松	92名	9月25日(土)大学	244名

今年で21回目となりました父母懇談会は、父母会の協力を得まして8月21日(土)の岡山会場を皮切りに、浜松・金沢・名古屋で開催され、9月25日(土)の大学会場をもって全日程を無事終了いたしました。

各会場とも午前中に大学の現状報告がなされ、午後は昼食をとりながらのグループ懇談や成績簿を前にしての個人面談が行われ、熱気につつまれました。

今年とはとくに、厳しさを増す就職状況について時間をとり、個別の相談コーナーが設けられ、ご父母が熱心にメモをとっておられる姿が印象的でした。

また、岡山では父母懇談会のみならず、中国・四国支部の同窓会が別会場で開かれました。父母懇談会と同窓会・父母会がタイアップして有機的な連携を図ることを検討しています。

役員紹介

敬称略

名古屋学院大学父母会

- 会長 田口利寿 (経済2年)
- 副会長 安木正一 (経済4年) 加藤孝治 (商3年)
- 委員 林 郷 (経済2年)
- 岡戸 靖 (商4年) 川地 徹 (商4年)
- 山田春美 (外語4年) 江尻定史 (経済4年)
- 笠井 覚 (外語3年) 豊田鋸次 (商2年)
- 長江真実 (外語3年) 鈴木國一郎 (経済1年)
- 鬼頭万仁 (商1年) 寺井純一 (外語1年)
- 三宅 治 (外語1年)
- 会計 長瀬憲八郎 (経済3年)
- 監事 加藤 修 (経済3年) 小川高正 (外語2年)

名古屋学院大学同窓会

- 会長 占部憲一 (71E)
- 副会長 山本茂一 (70E) 伊藤博義 (70E)
- 下村直己 (73E)
- 事務局長 長瀬憲八郎 (71E)
- 広報委員長 笠井 修 (73E)
- 総務委員長 古川雅章 (78E)
- 支部担当委員長 伊藤 暁 (77E)
- 事業委員長 須崎英晴 (78E)
- 理事 塚本 久 (70E) 山田弘一 (76E)
- 河本浩嗣 (80E) 安藤之人 (80E)
- 監事 水谷文穂 (69E) 生駒豊作 (70E)

学校法人 名古屋学院大学理事会

- 理事長 内山 道明
- 常任理事 佐藤 自郎 吉田 敬三 笠原 英城 小嶋 博
- 清水 克正 名城 邦夫 横井 弘美
- 理事 堀田 一郎 渡邊宜親 占部 憲一 小出八州男
- 藤田 行政 加藤 久雄 齋藤 孝
- 監事 加藤 章 加藤 和良

第35回 大学祭

今年のテーマは 初体験

大幸祭、名学大祭そしてN.C.U. Festival・大学祭と34回の歴史を刻んできた今年の大学祭は、10月30日(土)から11月3日(祝)の期間で開催されます。

大学祭実行委員会 轟 雄矢委員長(の1年間)にわたる、周到な企画・準備により盛大なイベントとして盛り上がることは確実です。

今年メインとなる企画は下記のとおりで、「在学生による大学説明会」や「大学同窓会のホームカミングデー」も開催され、地域はもちろんだ高校生や同窓生の参加もあつて初秋のキャンパスは一段と活気づくことでしょう。



10月30日(土)
オープニング企画 / 放文企画1 / 一般企画1 / 放文企画2
10月31日(日)
学生演奏会(中村好江(プロトランベッター・本学学生 他) / 子供企画 / シネマウイズアウト・ユー(栄光館) / ライブコンサート(八反安未果、森ひろこ)
11月1日(月)・2日(火)
学内スポーツ大会
11月3日(祝)
放文企画3 / 一般企画2 / トークライブ(中島礼香、鮎川なおみ、ギブ&テイク テイク白川、トカ山田) / 後夜祭





Information

1999年度 10月～3月行事予定

10月

- 6日(水) 手話講演会
(愛知のろう教育を考える会 事務局長 伊藤照男氏)
〔外国語教育研究センター〕
- 9日(土) オルガンコンサート(ギィ・ボヴェ氏)
〔キリスト教センター〕
- 20日(水) 留学生別科フィールドトリップ
—白川郷・金沢— (22日(金)まで)
- 23日(土) 編入学試験・AO入試
- 30日(土) 大学祭(11月3日(祝)まで)

11月

- 3日(祝) 陶芸館まつり・ホームカミングデー
- 8日(月) 宗教講演会
(ビルマに学会と図書室を代表 川上洸氏)
〔キリスト教センター〕
- 10日(水) 英語スピーチコンテスト
〔外国語教育研究センター〕
- 13日(土) 指定校・スポーツ推薦入試
- 20日(土) 一般推薦入試(経済・商)

12月

- 1日(水) 学生大会
- 8日(水) 経営者講演会
((株)ポックコーポレーション 取締役会長 谷田利彰氏)
- 22日(水) 補講(・24日(金))
留学生別科修了式
- 25日(土) キリスト降誕祭・市民クリスマス礼拝
〔キリスト教センター〕
冬季休業(1月9日(日)まで)

1月

- 11日(火) 後期授業再開
- 14日(金) 卒業論文提出期限
後期授業終了
- 17日(月) 後期(学年末)試験(28日(金)まで)

2月

- 1日(火) 一般入試 経済A・英米語B
- 2日(水) 一般入試 商A・中国語A
- 3日(木) 一般入試 経済—政策学科B
- 4日(金) 一般入試 経済C・商C・英米語A・中国語C
- 12日(土) 大学院第Ⅱ期入試
経済経営研究科—経済学専攻
外国語学研究科
- 19日(土) 大学院第Ⅱ期入試
経済経営研究科—経営政策専攻
- 27日(日) 一般入試(後期) 経済・商・英米語・中国語

3月

- 15日(水) 卒業証書授与式・学長表彰

創立記念日(10月15日)を迎えて

1964年に本学が創立されて今年で35年目になります。その大学創立35年記念日礼拝が10月12日(火)午後12時50分からチャペルで行われました。礼拝では梶原寿外国語学部教授の説教があり、学生および教職員が多数参加しました。また、10月14日(木)午後1時より、教職員の永年勤続者表彰が行われ、それぞれ30年3名、20年1名、10年16名のみなさんに表彰状と記念品が授与されました。

TV放映もあつたオープンキャンパス

7月24日(土)と8月20日(金)の2日間、恒例のオープンキャンパスを実施しました。今年度は、体験入学等によるAO(アドミッションズ オフィス)入試を新設し、その入試に関する関心の高さもあつて2回の実施日とも例年を上回る参加者数となり、延べ511名の受験希望者が本学を訪れました。

1999年度父母会総会報告

また、各学部の教員による各学科の模擬授業には延べ275名が受講しました。受験生が大学を選ぶ時代の到来といわれますが、単なる施設見学にとどまらず、大学の内容をじっくりと見て、志望校を決めようとする参加者の姿が印象的でした。

6月26日(土)大学において父母会総会が開催されました。当日は約180名のご父母の出席があり、予算・決算および役員改選について審議がなされ、富田政博会長後任として新たに田口利寿会長が選任されました。本年度の役員は別掲のとおりです。

続いて、大学から学長、経済学部長、商学部長、外国語学部長および学生部長、就職部長より大学紹介ならびに各学部、教学各部の近況報告等があり、盛会裡に終了しました。総会終了後、昼食を交えながら懇親を深めるとともにチャペルのパイプ・オルガンの演奏には高い関心をもたれたようでした。



第34回 NGU チャペルコンサートを開催

本学では2回目のコンサートとなった「ギィ・ボヴェオルガンコンサート」は10月9日(土)午後2時よりチャペルで開催されました。当日は一般市民を含め多くの学生や教職員が名曲の演奏に聴きほろみました。

「ギィ・ボヴェ オルガンコンサート」

プログラム
J.S.バッハ: パッサカリア
J.アラン: アニ・ヤヴェイシュタ 古代インドの神)への2つの舞曲
G.ボヴェ: 2つの教会風タンゴ
その他 すべての舞曲によるプログラム



表紙写真 / 「JRセントラルタワーズ」遠望

本学は標高240mの瀬戸丘陵地に立地しており、よく晴れた日には濃尾平野や伊勢湾とともに1999年12月オープン
のJR東海「名古屋駅セントラルタワーズ(オフィス塔51階
245m、ホテル塔53階226m)」が遠望できる。本学の新しい
景観の一つとなった。

表紙イラスト / 近藤朋代

学校法人 **名古屋学院大学**

発行日 1999年10月20日

編集 名古屋学院大学 広報(UI)委員会

発行者 名古屋学院大学 学長室広報課 愛知県瀬戸市上品野町1350
〒480-1298 TEL 0561-42-0350 ISSN 0915-8901

本学の情報はホームページでもご覧いただけます

<http://www.ngu.ac.jp/>